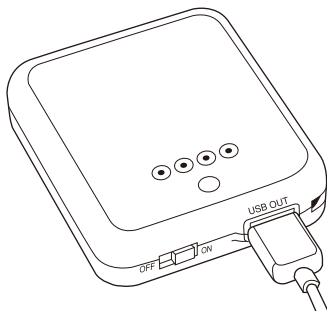


ポータブル充電器

取扱説明書



このたびは「ポータブル充電器」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。

※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

⚠ 警告

- 小児に手の届かないところに保管してください。
- 本製品を分解・修理・改造しないでください。発火したり異常動作するおそれがあります。
- 携帯時や保管中に、不用意にスイッチが押されてオンにならないようご注意ください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れるおそれのある場所での使用は絶対におやめください。

※ケガや故障の原因になりますので、上記を必ずお守りいただいた上でご使用ください。

1. 基本機能

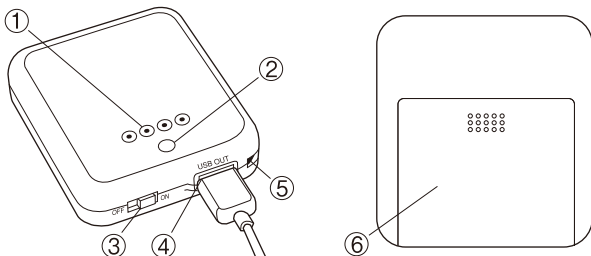
●携帯電話機充電機能

対応機種 ○docomoFOMA ○Softbank3G ○au
○スマートフォン ○アイフォンシリーズ

※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。

2. 各部名称

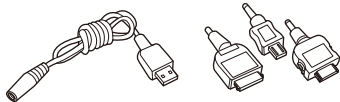
- ①電池残量表示(インジケータランプ)
- ②電池残量確認ボタン
- ③電源スイッチ
- ④USB出力端子
- ⑤ストラップホール
- ⑥電池BOXフタ



本機には⑤ストラップホールを設けています。お好みのストラップを取り付けてご利用ください。

3. 付属品名称

- 携帯電話機充電ケーブル 1本
- 接続コネクタ3種類
 - ・緑ラベル…スマートフォン用(microUSB端子)
 - ・オレンジラベル…au用
 - ・青ラベル…FOMA・Softbank3G用
- 取扱説明書/保証書(本書)

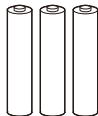


●単3アルカリ乾電池(3本)

※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。

※携帯・スマートフォンコネクタについて、電話機本体にコネクタをさしていただく場合、各色のラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下にして差し込んでください。

※オレンジと青ラベルコネクタにはツマミがあります。抜く時はツマミを押しながら抜いてください。



4. 乾電池の入れ方

◎乾電池は必ずアルカリ乾電池をご使用ください。

1. ⑥電池BOXのフタを【図1】のように矢印方向にスライドさせて開けてください。

※フタは取り外し式です。紛失にご注意ください。【図2】

2. 図3のように単4乾電池3本を、方向を間違えずに正しく入れてください。【図3】

※乾電池のプラスとマイナスを間違わないように入れてください。

※乾電池ボックス内にある取り出しペロを電池ボックスの底に敷いてセットすると乾電池を取り出す時に便利です。

3. ⑥電池BOXのフタを閉めてください。

乾電池の注意事項

※乾電池は古いものと新しいものを混ぜたりしないでください。

※必ずアルカリ電池をご使用ください。(マンガン電池は使用しないでください。)

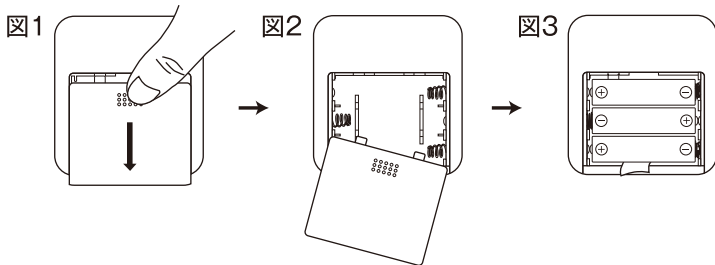
※乾電池が液漏れをおこした場合、手で触らないようにしてください。

※乾電池より液漏れをした液体が目に入った場合、医師の指示に従ってください。

※乾電池より液漏れをした液体が皮膚にふれたりした場合、水などで洗い流してください。

※皮膚に異常が発生したときは医師の指示に従ってください。

◎電池フタにある凸部分を押しさえ、矢印方向にフタを開けます。



5. 携帯電話を充電するには

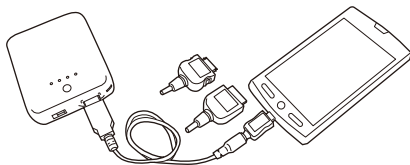
1. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせた接続コネクタをお選びください。携帯電話機充電ケーブルのもう一方のプラグを④USB出力端子に差し込みます。

※携帯電話の接続端子について、お手持ちの携帯電話にラベル面が差し込めない場合は、裏面にして差し込んでください。

※形状の異なるコネクタを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対おやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

2. ③電源スイッチを「ON」の位置に合わせてください。携帯電話機の充電が始まります。



◎携帯電話の使用時間の目安

※アルカリ乾電池を使用して携帯電話の通話で約30分、携帯電話の待ち受け時間で約48時間可能です。(平均的な目安です。)

(ご使用の機種やアルカリ乾電池により異なります。)



- アルカリ乾電池より携帯電話を充電した場合、アルカリ乾電池が熱くなります。充電中もしくは充電直後はアルカリ乾電池を絶対にさわらないようにしてください。火傷をするおそれがあります。
- 充電終了後15分程度は乾電池に触らないでください。
- 更に充電をつぎ足したい場合は、新しいアルカリ乾電池をご使用ください。

6. 電池残量表示について

※電池残量表示(インジケータランプ)の点灯で乾電池の残量が確認できます。

◎3秒間表示と連続表示ができます。

※③電源スイッチはON・OFFいずれでも構いません。

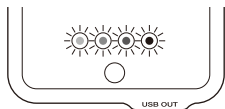
3秒間表示

1. ②電池残量確認ボタンを押すと①電池残量表示(インジケータランプ)が3秒間点灯します。

連続表示

1. ②電池残量確認ボタンを2秒間押し続けると①電池残量表示(インジケータランプ)が点灯します。
※電池残量表示(インジケータランプ)は自然消灯しません。
2. ②電池残量確認ボタンを2秒間押し続けると①電池残量表示(インジケータランプ)が消灯します。

4つが点灯している場合	100%~76%
3つが点灯している場合	75%~51%
2つが点灯している場合	50%~26%
1つが点灯している場合	25%~1%



4つのインジケータランプの点灯について

※携帯電話機の機種や乾電池の種類により乾電池の容量の減り方が変動します。(充電開始初期に1・2点灯になる場合があります。)

※4つのランプ点灯が全て消えた時が、乾電池の交換の時期になります。

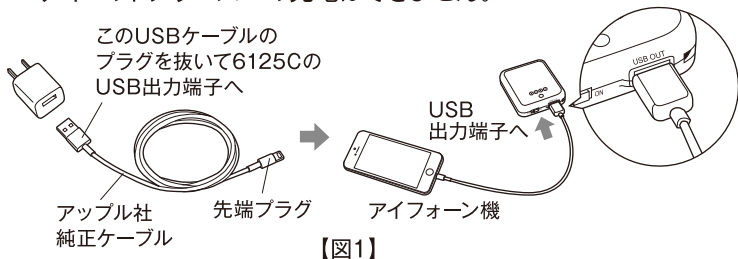
◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ(30ピンタイプ及びライトニングタイプ)は付属していません。

アップル社純正のUSBケーブルを使用する。

アップル社の純正のケーブルをご使用ください。(純正ケーブルのUSB端子を本体の⑬携帯電話充電端子(USB出力)に差し込み、ケーブルの反対側の先端プラグをお手持ちのiPhone機に差し込んでください。)**【図1】**

※iPadシリーズへの充電はできません。



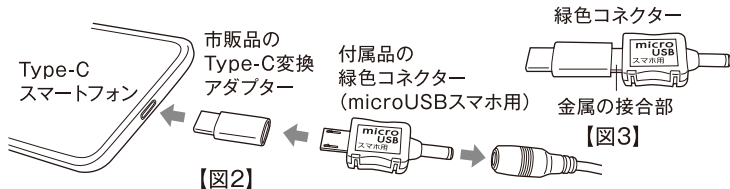
◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※Type-Cコネクタは付属していません。

付属品の緑色microUSBコネクタからType-Cへの変換アダプターを使用する。

※市販品のType-Cへの変換アダプターをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。**【図2】**

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。**【図3】**



○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- 海外製の機種にはお使いになれません。
- 充電開始後すぐに「警告」や「充電をやめてください」というような表示がでる場合もあります。その際はすぐに充電をやめてください。故障の原因となります。
- 充電ができない場合は、当社窓口にご相談ください。
- タブレットシリーズに充電できません。

携帯電話充電の際の安全上の注意



注意

メモリー消失に注意!

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法(バックアップ等)で控えをとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上、お使いください。



禁止

普段の充電は純正充電器で…

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

最近のスマートフォン、アイフォーンの場合は内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、機種により充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。

ご使用前に必ず、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

危険 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容

- 本製品はアルカリ乾電池が付属していますが、ニッケル水素電池（充電式乾電池）にも対応しています。乾電池は、同じメーカーの同じ種類を必ずご使用ください。単3形アルカリ乾電池、及びニッケル水素電池（充電式乾電池）以外の電源で使用すると、発熱、発火、感電、けがの原因になりますので絶対にお止めください。
- お手入れの際は、必ず乾電池を外して行ってください。また濡れた手で扱わないでください。感電やけがをすることがあります。
- 本製品を水につけたり、濡らさないでください。また水に濡れた時は使用しないでください。感電、発熱、発火の原因になります。
- コードによる事故や誤飲等の危険性がありますので、乳幼児・小児の手の届かない場所で使用、保管してください。
- 分解、改造などを絶対に行わないでください。発熱、発火、感電、けがをすることがあります。分解、改造などに起因する故障、トラブルに関しましては、当社では責任を負いかねます。
- 適合機種以外の電話機等は、使用しないで下さい。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。故障、火災の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないで下さい。発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾電池や機器を逆接続した場合、機器の破損や火傷を負う危険があります。
- 電池内部の液が目・皮膚・衣服に付着したときは、失明やけがの恐れがあるのですぐに水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 分解・改造をしないでください。感電、火災、故障の原因となります。
- コードが傷んだら使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ぬらさないでください。水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
- ぬれた手で充電器本体に触れないでください。感電の原因となります。
- コネクターの端子を絶対にショートさせないでください。また、コネクターの端子に手や指など、身体の一部に触れないでください。火災、故障、感電、傷害の原因となります。
- 使用の際には、必ず機器のバッテリーパックがセットされていることを確認してください。セットされていない状態で使用すると機器を破壊する恐れがあります。
- 本製品には、乾電池が付属しています。ショート、加熱、火に入れるなどしないでください。
- 火の中に投入しないでください。漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、漏液など異常を感じた場合は、使用を中止してください。そのまま使用すると漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 機器の各種メモリーは、何らかの原因によって消失する可能性があります。ご使用に際して、製品以外のメモリー等の損害の保証は、責任を負いかねますので、必ずメモリーの控えをとってからご使用ください。
- 本製品はスマートフォン（microUSB端子機種）、ならびにアイフォンシリーズ・au・FOMA・Softbank3Gの充電専用です。本用途以外では、絶対に使用しないでください。
- 各機種充電する場合は、必ず本製品のコネクタと接続する向きをご確認のうえ、ご使用ください。無理に逆向きで接続しないでください。コネクターの破損、ショート、火災、故障の原因となります。また、各機種に登録した各種メモリーが破損、消失する危険があります。本製品を使用し、万が一メモリーが破損、消失しなくても、メモリーの復活に関し当社では責任を負いかねますので、充分ご注意ください。
- ご使用する前には、必ず各機種及び本製品のコネクタ部をチェックしてください。ゴミやホコリの付着がある場合は、ショート、火災の原因になりますので、必ずお手入れ後にご使用ください。また充電用プラグ部が変形している場合は、使用をおやめください。

- 本製品に金属などを差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因になります。
- 本製品を火中に投入したり、加熱したりしないでください。破裂、火災、けが、故障の原因になります。
- 本製品を投げたり、衝撃を与えないでください。事故、けが、故障の原因になります。
- 充電中、各機種の電池が熱くなったり異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し当社までご連絡ください。
- 直射日光の当たる場所での保管や、火の近く・高温・多湿の場所での使用、保管はしないでください。事故、故障の原因になります。
- 熱のこもる場所（布団の中など）で使用しないでください。そのような場所で長時間使用すると本製品が熱を持ち、低温やけどの原因となります。
- 本製品を踏みつけたりするような危険性がある場所に放置しないでください。けがや事故の原因になります。
乾電池から漏れた液が目に入ったときは、失明やけがの恐れがありますので、すぐに水でよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

- 湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないで下さい。故障の原因となります。
- 直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- 乳幼児の手が届かないところに保管してください。けがなどの原因となります。
- 電池は、単3型乾電池をご使用ください。また十の極性を間違えないように交換してください。
- 充電中は充電器を不安定な場所に置かないでください。また、充電器を布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。電話機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。
- 充電終了後は、機器からコネクターを抜いてください。火災、故障の原因となります。
- 電話機等の充電中はポケットやバッグの中に入れてまま、長時間放置しないでください。
- コネクターにホコリなどが入るとショートし、機器を破損する原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、正しく使用しているかご注意ください。けが、事故などの原因となります。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因になることがあります。回収を行っている市町村の指示に従ってください。
- 長期の保管は、電池の液漏れなどの恐れがありますので電池を外してください。
- 充電状態の機器に何時間も接続をしないで下さい。また、乾電池を使い切った状態で接続しないでください。画面がフリーズしたり、電源が入らないことや充電ができなくなる場合があります。
- 電話機等のバッテリー残量が少ないとき、充電器の電池が切れてしまうと、通話が切れることや機器にロックがかかる場合があります。電池残量にご注意ください。
- 寒い場所から暖かい場所などに本製品を持ち込むと、本製品内部に水滴がつき、正常に動作をしない場合があります。そのまま使用すると故障の原因になります。そのような時は乾電池を外し、水滴が乾くまで暖かい場所で放置（目安として約60分）してください。
- 極端な温度条件下では保管しないでください。※-10℃～40℃内の環境下で保管してください。
- 5℃～35℃の環境でご使用ください。それ以外の温度の場所での充電は、本製品の性能を十分に発揮できません。また発熱、故障の原因となります。
- 本製品を直射日光の当たる場所、密閉された車内（特に夏期）、ストーブやヒーターなどの熱源のそば等で使用、保管しないでください。故障の原因になります。また重い物を載せたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かないでください。発熱、発火、故障の原因になります。
- 傷ついたり、変形、液漏れした乾電池は使用しないでください。故障や破損原因になります。
- 万一、本製品の故障、破損が原因で生じた損害の保証範囲は、現品交換のみとさせていただきます。その他の損害等に関しては保証外とさせていただきます。
- 電源ボタンを押して画面が立ち上がらないほど電池を消費した機器では使用できません。※機器の電池切れを待たず、早めに充電してください。
- 機器によって本製品を接続する向きが異なります。ピンの並びに注意し、必ず正しい向きで接続してください。
- 機器に登録した各種メモリーは必ず控えをとってからお使いください。

- ニッケル水素電池(充電式乾電池)にも、ご使用できます。マンガン乾電池には、ご使用できません。
- 電池は3本とも同じメーカーの同じ種類の新品をご使用ください。使用した電池や古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ご購入の際のレシートなどは大切に保管してください。万一の製品不良による商品交換時に必要となります。(保証期限:ご購入日より一年間)

使用上の注意

- 本製品は、スマートフォン、ならびにアイフォンシリーズ・au・FOMA・Softbank3Gで使用できますが、一部使用できない機種があります。
- 本製品を乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。
- 充電状態はそれぞれの機種でご確認ください。長時間充電しても充電対象機種の電池レベルが上がらない場合は、一度各機種の電源を切り、再度立ち上げてご確認ください。
- 電源ボタンを押して画面が立ち上がらない状態まで電池を消費した機種では充電できません。そのような時は純正の充電器をご使用ください。※電池切れを待たず、早めに充電してください。
- 乾電池は、何回かに分けて使用することもできます。使用することに乾電池を使い切るまで充電せず、通話、待ち受けなど必要な時間だけ使用すれば乾電池を何回かに使い分けることができます。
- 各機種に要充電表示が出ている状態から接続し、使用せず充電のみを行う場合は、2時間経過しましたらコネクターを抜いてください。長時間放置しますと機種の電池が放電してしまうことがあります。
- 充電中でも通話、メール、データ通信、音楽再生、ゲームなどができますが充電時間が長くなります。
- アイフォンシリーズの画面に電池マークが出たり消えたりを繰り返したり、「アクセサリ非対応」表示がされた場合は乾電池の残量不足です。新しい乾電池に交換してください。
- ポケットやバッグの中では充電しないでください。本製品と充電対象機種を接続したまま、ポケットやバッグに入れないでください。接続部に大きな力加わって本製品が破損したり、高熱を発生してけがや故障の原因になります。
- 通常の通話以外では乾電池の消費量が大きくなる場合があります。音楽再生、インターネットへのアクセスやダウンロード、ゲーム、データ通信中、各機種の電源が切れ、新品の乾電池に交換して本製品を使用しても電源が入らない場合は、純正の充電器を使用してください。
- 本製品の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤等にひたした布をよく絞ってふきとった後、乾いた布で再度きれいにふきとってください。シンナーやベンジンなどの揮発油や、アルコールではふかないでください。本製品を痛める原因になります。
- 電話帳など、各機種に登録したメモリーは必ず控えをとってからご使用ください。万が一メモリーの破損、消失が生じても、その復活はできません。必ず控えをとってください。メモリーの復活に関しましては当社では責任を負いかねます。
- 携帯電話のテレビの受信は、充分充電してからにしてください。電池残量不足で接続しますと、すぐにはテレビをご覧いただけない場合があります。
- 使用済みの乾電池は、各地域の指定方法に従って廃棄してください。
- 本製品は金属部品やプラスチックでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。
- 使用中、機器の電池パックが非常に熱くなるなど異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、当社までご連絡ください。
- 一部の機器では、電池切れの警告が出てから長時間放置した場合、充電しないことがあります。この場合、機器の専用充電器より充電してください。
- 周囲の温度が5℃以下または35℃以上になる場所で充電しないでください。保護機能が働き、充電できないことがあります。
- 充電器を使用中、ラジオなどに雑音が入るときは、ラジオ及びアンテナなどから充電器を1m以上遠ざけてください。
- ご使用中際して、通話内容及び各種メモリー内容に関する損害などの保証は、責任を負いかねますのでご承諾の上、ご使用ください。
- アイフォンシリーズでご使用の場合、乾電池の電池残量が少なくなると、タッチパネルの操作がおこなえなくなったり、「このアクセサリは充電には対応していません」というメッセージが表示されるなどの症状がでる場合があります。その場合、新しい電池に交換して再度充電を開始してください。

ニッケル水素電池(充電式乾電池)ご使用上の注意

- 本製品はアルカリ乾電池、及びニッケル水素電池(充電式乾電池)でご使用いただけます。
本製品にはアルカリ乾電池が付属していますが、ニッケル水素電池(充電式乾電池)にも対応しています。ただし、ニッケル水素電池はアルカリ乾電池に比べて電圧が低いため、ニッケル水素電池を使用して携帯電話機を充電する場合は、本製品の電池残量表示が正常に作動しない場合があります。
- ニッケル水素電池はショート(短絡)させないでください。
ニッケル水素電池のプラス端子とマイナス端子を金属で接続しないでください。また、ニッケル水素電池をネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に保管しないでください。ニッケル水素電池のプラスとマイナスがこれらの金属によりショート(短絡)し、過大な電流が流れ、ニッケル水素電池が発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱するなどして危険です。
- ニッケル水素電池の異常に気づいたら使用を中止してください。
ニッケル水素電池が液もれしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、ニッケル水素電池が発熱、破裂するおそれがあります。
- ニッケル水素電池は電池純正の充電器で充電してください。
プラス極、マイナス極を間違えず、正しい方法で決められた充電器を使用してください。ニッケル水素電池純正の充電器以外を使用すると、ニッケル水素電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
- 異なる種類、銘柄のニッケル水素電池、フル充電のニッケル水素電池と、使用中のニッケル水素電池を混ぜて使わないでください。
種類や銘柄(メーカー名)の違うニッケル水素電池を混ぜて使ったり、同じ種類、銘柄でも、フル充電のニッケル水素電池と、使用中や未充電のニッケル水素電池を混ぜて使うと、発熱、液もれ、破裂を起こすことがあります。ニッケル水素電池を使用する時は、同じ種類、銘柄でフル充電したニッケル水素電池を使ってください。
- 長い間使用しない時は、ニッケル水素電池を本製品から取り出してください。
本製品を使用しなくてもニッケル水素電池は電気が少しずつ減っていきます。液もれの原因にもなりますので長期間使用しない場合はニッケル水素電池を取り出しておいてください。また取り出したニッケル水素電池は、個別にケースに入れるなどして、ショート(短絡)しないように注意してください。
- ニッケル水素電池の液が皮膚や衣服についたら、水で洗い流してください。
ニッケル水素電池の中の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ニッケル水素電池は直射日光、高温多湿の場所を避けて保管してください。
湿度が高いとニッケル水素電池に露(水分)がつき、ショート(短絡)することがあります。また、高温下に長い間放置されると性能が低下します。
- ニッケル水素電池に強い衝撃を加えないでください。
ニッケル水素電池を高所から落としたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。変形して内部ショート(短絡)し、液もれ、発熱、破裂するおそれがあります。
- ニッケル水素電池を濡らさないでください。
水、海水、ジュースなどの液体でニッケル水素電池を濡らすとショート(短絡)したり、さびたりします。
- ニッケル水素電池は火中に投入しないでください。
ニッケル水素電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。発熱、破裂、発火することがあり、危険です。
- ニッケル水素電池の外装チューブをはがさないでください。
ニッケル水素電池の外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。ニッケル水素電池がショート(短絡)状態となり易く、ニッケル水素電池が液もれ、発熱、破裂する原因となります。
- ニッケル水素電池は分解、改造しないでください。
ニッケル水素電池を分解すると内容物で化学やけどを負ったり、破裂し発火する場合があります。また、改造すると危険を防ぐ機能がそこなわれ、破裂、発熱、発火の原因となります。
- ニッケル水素電池に直接ハンダ付けしないでください。
ニッケル水素電池の端子に直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になり危険です。